

UVニス

UV コートニス LES GJ-S

『UV コートニス LES GJ-S』は、省電力UVシステムに適した硬化性を有する、UVインキ上の艶出し加工のために開発したコーターユニット用グロスニスです。

■ 特 徴

- ▶ 省電力 UV システムに対する硬化適性が良好で、乾燥能力が高い。
- ▶ 平滑性、光沢に優れる。
- ▶ 箔押、糊付け適性が良好である。
- ▶ 擬似エンボス印刷時の適性が良好である。

■ 一般性状

- ▶ 形 状 : 淡黄色半透明液体
- ▶ 粘 度 : 約 370mPa・s (ICI粘度計 25°C)
- ▶ : 約 40sec (ザーンカップ#4 25°C)
- ▶ 消防法分類 : 指定可燃物可燃性液体類

■ 使用方法

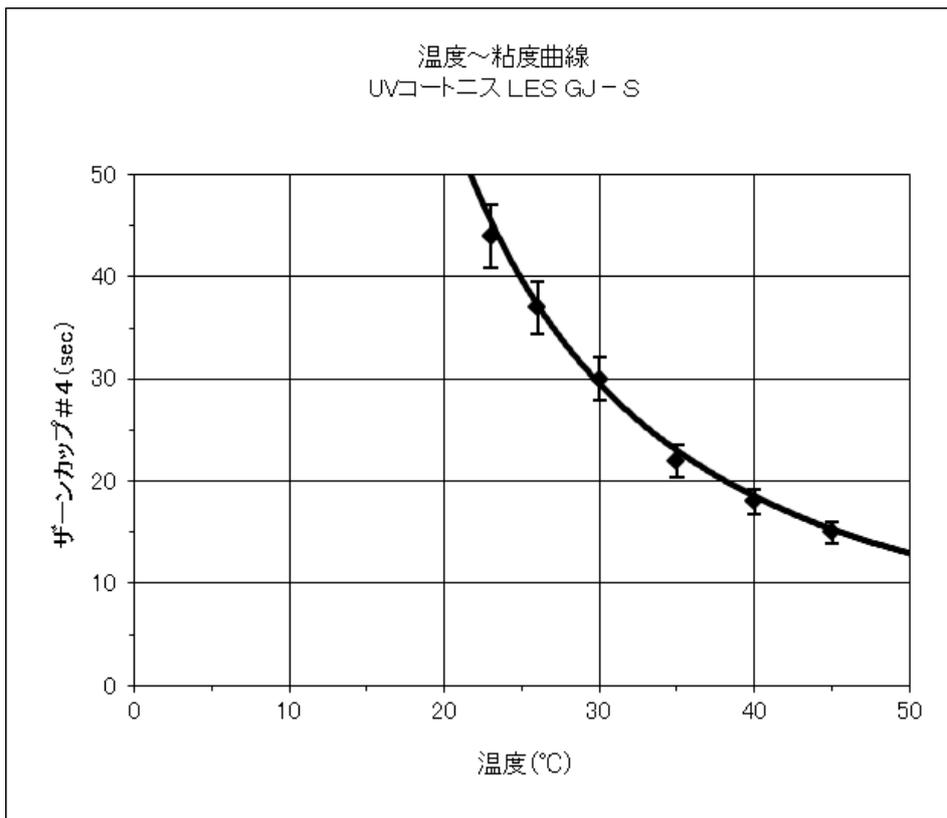
- ▶ 下刷りインキは、UVインキを使用してください。
- ▶ インラインコーター、オフラインコーターおよびオンウェット、オンドライのいずれの方法もご使用できます。
- ▶ 粘度調整の際はニスタンクによる温度調整で行ってください。
- ▶ 使用時のニス粘度はザーンカップ#4で15~20sec(ニス温度:38~44°C)を目安としてください。
- ▶ 版材には樹脂凸版もしくはオフセット印刷用ブランケットが使用できます。
- ▶ 擬似エンボス印刷にご使用になられる場合、下刷り用UVニスには弊社“UV HJK LES 下刷りニス”シリーズを選択願います。

■ 使用上の注意

- ▶ 硬化能力が高いため、蛍光灯等の紫外線に反応して硬化しやすくなりますので、状況に応じて遮光や紫外線カット蛍光灯のご使用等、ご検討をお願いいたします。
- ▶ 製品を直射日光に曝さないでください。また、冷暗所にて保存願います。(30°C以下)
- ▶ 製品を良く攪拌してからご使用ください。
- ▶ 印刷時の諸条件の違いにより“LES GJ-S”の諸物性に差異が生じます。また使用用途や条件の違いにより、印刷物に必要な諸物性が異なります。必ず本機印刷物で密着性、耐ブロッキング性、滑り性、耐罫割れ性、後加工性等の必要諸物性を事前にご確認の上ご使用ください。
- ▶ 原反や下地インキの種類によって接着し難いものやレベリング不良になるものもありますので、ご確認の上作業を進めてください。
- ▶ インキ・ニス盛り量過多やランプ劣化等の条件によっては、硬化不良・密着不良の原因となりますのでご注意ください。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 下記の様な条件の場合には、特にブロッキングが発生しやすくなりますのでご注意ください。
 - ・乾燥状態が不十分な場合
 - ・両面コート紙に印刷を行う場合
 - ・PP貼り等高平滑面との重ねの場合
 - ・高温、多湿条件や高荷重条件で保存する場合
 - ▶ 滑りは印刷物の状態によって変化し、条件により資料参考値や過去実績値から想定以上に変化することがあります。下記の様な条件の場合には、滑り難くなりますのでご注意ください。
 - ・乾燥状態が不十分な場合
 - ・高平滑原反への使用や高平滑仕上がりの場合
 - ・塗工量が多い場合
 - ・高温、多湿時の印刷および保存の場合
- なお“LES GJ-S”は滑り能力が低いタイプであり、上記現象が現れやすいため、高速充填ライン等で滑り適性が必要とされるカルトン分野には不向きです。滑り性が付与される擬似エンボス印刷以外での使用実績はありません。
- ▶ 糊付けや箔押し等を考慮したタイプですが、条件により適性は異なります。事前に予備試験を実施して、糊や箔の種類選択や加工条件等で問題のないことをご確認ください。
 - ▶ 非吸収原反に印刷した印刷物が屋外もしくは水（結露を含む）のかかる環境に置かれた場合、接着力が低下して爪などによって簡単に剥がれることがありますので、ご確認願います。
 - ▶ 人体に影響のないように考慮して設計いたしておりますが、皮膚・衣類にニスが付着したまま長時間放置いたしますと、人によってカブレを生じることがあります。作業時の保護具の着用、作業後の手洗い等ご配慮ください。
 - ▶ ご使用に際しては、『安全データシート』を参照願います。



印刷インキ工業会

2022/01/17 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。